

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機の
原子炉等規制法に基づく設計及び工事の計画の認可申請の概要

1. 申請者及び申請年月日等

申請者：九州電力株式会社 代表取締役 社長執行役員 池辺 和弘

申請年月日等：

令和3年4月14日（原発本第8号）

補正年月日等：

令和3年9月30日（原発本第99号）

2. 発電用原子炉を設置する工場又は事業所の名称及び所在地

名称：川内原子力発電所

所在地：鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片平山

3. 発電用原子炉施設の出力量及び周波数

出力： 1, 780, 000 kW

第1号機： 890, 000 kW（今回申請分）

第2号機： 890, 000 kW

周波数： 60 Hz

4. 申請範囲

計測制御系統施設

計測制御系統施設（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係るものを除く。）

6 計測装置

（7）原子炉補機冷却設備に係る容器内の圧力又は水位を計測する装置

（15）圧力低減設備その他の安全設備に係る熱交換器の入口又は出口の温度を計測する装置

10 計測制御系統施設（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置を除く。）の基本設計方針、適用基準及び適用規格

11 計測制御系統施設（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置を除く。）に係る工事の方法

発電用原子炉の運転を管理するための制御装置

2 中央制御室機能及び中央制御室外原子炉停止機能

放射線管理施設

1 放射線管理用計測装置

（2）エリアモニタリング設備

ハ 緊急時対策所の線量当量率を計測する装置

- (4) 移動式周辺モニタリング設備
- 2 換気設備
 - (3) 主配管
 - (4) 送風機
 - (6) フィルター
- 3 生体遮蔽装置
- 4 放射線管理施設の基本設計方針、適用基準及び適用規格
- 5 放射線管理施設に係る工事の方法

その他発電用原子炉の附属施設

- 1 非常用電源設備
- 2 非常用発電装置
 - (5) 発電機
 - イ 発電機
- 4 非常用電源設備の基本設計方針、適用基準及び適用規格

4 火災防護設備

- 1 火災区域構造物及び火災区画構造物
- 2 消火設備
 - (2) 容器
 - (5) 主配管
- 3 火災防護設備の基本設計方針、適用基準及び適用規格
- 4 火災防護設備に係る工事の方法

9 緊急時対策所

- 1 緊急時対策所機能
- 2 緊急時対策所の基本設計方針、適用基準及び適用規格
- 3 緊急時対策所に係る工事の方法

5. 工事の種類・内容

種類：発電用原子炉の基数の増加の工事以外の変更の工事

内容：緊急時対策所の改造等の工事

6. 申請理由

第1号機と第2号機で共用する緊急時対策所（指揮所）を拡張して緊急時対策所（緊急時対策棟内）とし、居住性の確保に関する機能の変更、警報装置の追加設置等を行う。